

平成22年（1月～6月）における火災の概要（概数）

総務省消防庁

前年同期と比較すると、総出火件数が減少するとともに、建物火災、車両火災、林野火災、船舶火災、その他の火災においても件数は、減少しております。

また、火災による死者数も減少しています。

① 総出火件数は、24,342 件、前年同期より4,295 件の減少

総出火件数は、24,342 件で、前年同期より4,295 件減少（-15.0%）しています。火災種別で見ると、建物火災が995 件減少、車両火災が310 件減少、林野火災が714 件減少、船舶火災が18 件減少、その他火災が2,258 件減少しています。

② 総死者数は、1,041 人、前年同期より70 人の減少

火災による総死者数は、1,041 人で、前年同期より70 人減少(-6.3%)しています。負傷者は、3,992 人で、前年同期より312 人減少(-7.2%)しています。

③ 住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は、623 人、前年同期より17 人の減少

住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は、623 人で、前年同期より17 人減少(-2.7%)しています。このうち65 歳以上の高齢者は、389 人で、前年同期より4 人減少(-1.0%)していますが、住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数の62.4%を占めています。

④ 出火原因の第1位は、「放火」、第2位は、「こんろ」

総出火件数24,342 件を出火原因別にみると、「放火」2,794 件(11.5%)、「こんろ」2,379 件(9.8%)、「たばこ」2,366 件(9.7%)、「放火の疑い」2,060 件(8.5%)、「たき火」1,435 件(5.9%)の順となっています。

また、「放火」及び「放火の疑い」を合わせると4,854 件(20.0%)となっています。

[▲ このページの上に戻る](#)

目次

[1.平成22年秋の叙勲 婦防会長が旭日双光章を受章](#)

[2.平成22年秋の褒章 婦防元会長が藍綬褒章を受章](#)

3.平成22年（1月～6月）における火災の概要 —総務省消防庁

[4.住警器共同購入等の事例紹介 ～第5回～](#)